文書番号	EY-SH-08
版　　数	第4版
配布先	

生産部 処理業務課

CSP及びTSK切断作業

基 準 手 順 集

制　　定　　2011年 2月 21日

改　　定　　2013年 4月 〇〇日

手塚産業株式会社

承認	確認者	作成者
2011/12/9	2011/2/21	2011/2/21
社長	課内責任者	
手塚治	小林崇久	加藤裕介

CSP切断作業

この作業について・・製造課より廃棄処分となったCSPを解体し、仕分けしたゴムの保管用容器(主に濡れゴム用)として使用する為、切断します。

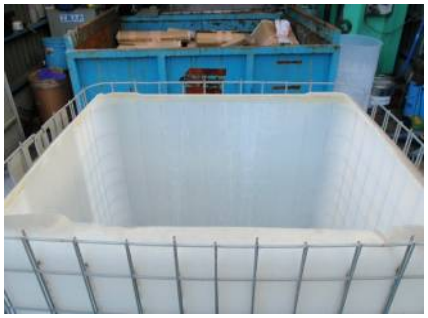
作業の大まかな流れ

作業人数　2

※CSPの全解体は行いません。

廃棄CSP

所要時間としては
単体だと10分程度
基本的には複数
まとめて処理します。



上部のみを解体し、
切断します。
完成した容器は
リサイクルエリアの
コンテナ置き場又は
カラム前で
保管します。

ゴム仕分け用

選別されたゴムの
保管容器として
使用します。

使用工具と保護具

防塵マスク

丸ノコ

プロテクター

※丸ノコの使用前点検については
廃棄パレット切断マニュアルを参照
して下さい。

アームカバー

革手袋

前掛け

ワイヤーカッター

モンキーレンチ

延長コード

インパクトドライバー

インパクトドライバー取説

※インパクトドライバーの使用方法
については付属の取扱説明書を
参照して下さい。

ゴム用の切断手順

ゴム用は容器として使用する為、上だけを切断し、切断した後は
基本的にリサイクルエリアで一時的に保管します。
（カラム前での保管もあり）
保管する際は、中に雨水が溜まらないよう、排水コックは開いて
置きます。

CSP容器数をホワイトボードにて管理し3CSPを下回ったら

１、CSPに設置されている黒い天板を
　取り外します。（左写真赤丸）

取り外し方

モンキーレンチで天板を固定している
ボルトを外します。
※反時計周り

外したボルトは千地として処分。

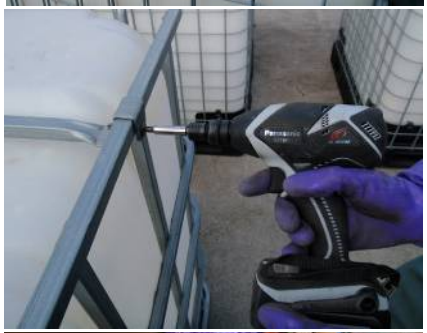
ボルトを全て取り外したら、天板は
上に持ち上げれば簡単に取れます。

天板は成形品として処分。

2、固定用の2本の鉄製の金具を取り
外します。

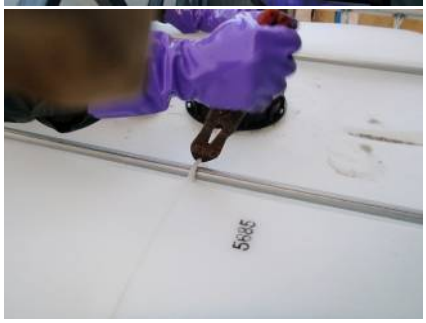
この固定用の棒は様々なタイプがあり
それにより取り外し方が変わります。

固定する部分がフック状になっている
物は、金具を手前に引っ張りながら上
持ち上げれば取り外せます。



違うタイプでビス等で固定されている
ものがありますが、その場合はインパクト
ドライバーで解体します。
ビスがプラスや、六角だったりするので
形に合ったビットを使用して下さい。

※ドライバーの使用方法については
付属の取説を参照して下さい。

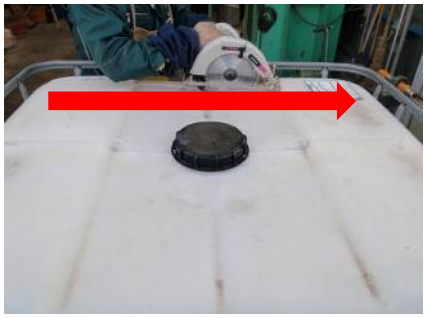


3、金具を固定している部分をワイヤー
カッターで切り取ります。

※取り外した2本の鉄製の金具は
千地で処理してください。

4、CSPの上部を丸ノコで切断します。
※左写真の赤い線が切断していく
部分になり、鉄の枠に沿って切断
していくイメージです。

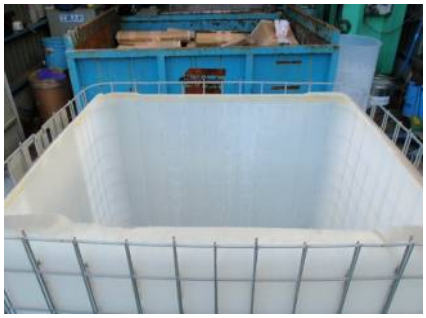
11年11月10日・作業中に使用している丸ノコの
電源コードを切断してしまうヒヤリが発生！



５、片辺ずつ切断していき、計4辺を
　　切断します。

※木材を切断する場合より丸ノコが
　顔や胸に近くなる為、胸当てを
　しかっりと締めてください
　また、切断面は凹凸があり、キック
　バックしやすいのでゆっくりと丸ノコを
　進め、切断して下さい。

※丸ノコで切断をする際はコードが垂れない様に
　肩に掛け、切断作業を行って下さい。
　また、後ろに垂れたコードがCSPの足に引っ掛かり
　コードが張る危険性もある為、補助作業者・作業者
　は切断体勢に入る前にコードが引っ掛かっていない
　事を確認してから切断作業に入って下さい。
　TSK切断作業に付いても同様です。



６、４辺を全て切り終えたら完成です。
　　容器として完成したCSPはCN-1H横
　（カラム前）に運搬して下さい。

CN-1Hへ2段積みで運搬する際、CSPがしっかりと乗っていることを
確認してから運搬すること。
（重量が軽いので、ちょっとした段差でも2段目のCSPが跳ねやすい）

TSK切断作業

廃棄処分となったTSKを焼却炉の種火用として切断します。
保護具はCSP切断時と同様の物を着用して下さい。

TSKは横幅が長い板と短い板の2種類があります。

作業の大まかな流れ

作業人数　2人

周囲の鉄片を丸ノコで切断。

10～15cm程度の幅で細かく切断

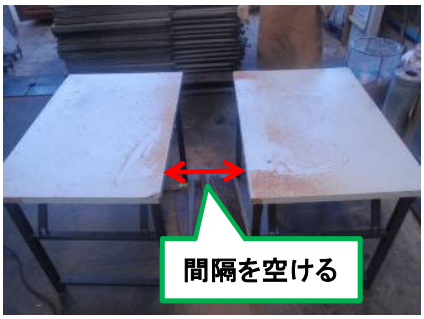
10枚ずつガムテープで束ねて完成

1、G8倉庫横の廃棄木材置き場からTSKの束を
ハウス前へ運搬します。(リサイクルエリア内に
有る場合はエリア内のTSKを運搬)
※写真赤丸内の板がTSK

2、切断した木材と鉄片を入れるコンテナを
ハウスの外へ設置します。
コンテナは1.5m3と2.3m3のどちらを
使用してもかまいません。

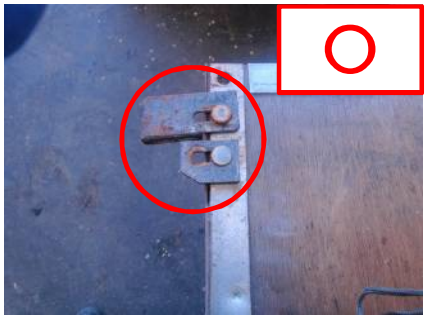
3、丸ノコの始業前点検を行い、異常が
なければ保護具を着用し、切断を開始
します。

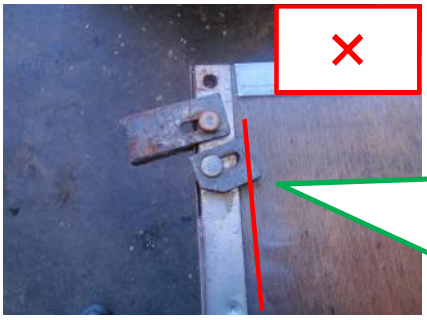
TSKは4枚で1セットになります。
作業終了後、報告書にセット数を記入する
ので、切断したセット数は忘れないように！



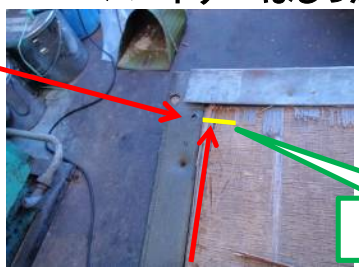
4、ハウス内の中央に作業台を2台30cm
程度間隔を空け、設置します。
その後、台の上にTSKを作業台から
はみ出すように1枚置きます。

板を置く際は、ジョイントの黒い金具が表を向いていることを確認し、
金具が切断ラインに重ならない様にして下さい。





5、鉄片に沿って（鉄片から1cm距離を取る）切断していきます。
パートナーはしっかりと板を抑える。



誤って鉄片に丸ノコの刃が接触してしまうと、刃が吹っ飛んでしまい
作業員に飛んでくる危険性があります。

6、丸ノコの刃を抜き、パートナーが鉄片を横へ引っ張る様に折り、鉄片用のコンテナに投入します。

7、手順4の板の設置から手順6までを繰り返し行い、鉄片を全て除去したら、板を作業台の中央に載せ2分割に切断します。

切り粉が作業服に大量に付着するので、休憩や作業終了時は全身にエアーガンをかけて下さい。

8、2枚に重ね、辺の短い方を作業台の間隔を空けてあるスペースにはみ出す様に設置し、パートナーはしっかりと板を抑えます。

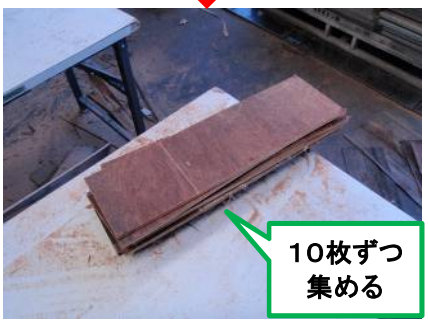
9、はみ出している部分を10～15cm程度の幅で切断していき,切断した板はそのまま下に落とします。

※板を抑える人は丸ノコの切断ラインに手を置かないこと。また、切断する人もライン上に異物等が無いことを確認しながら行うこと。

上記手順4～9を繰り返し行い、下に板が一杯になるまで続けます。

※板が散乱としているので足元を良く確認して作業して下さい。

10、下に山積みになった板を10枚ずつ
重ね合わせ、ガムテープで最低3回
巻き、木材用のコンテナに投入します。



ここまでの作業を繰り返し行い、
種火用の木材を作成します。

コンテナが満載になったら‥

木材‥焼却炉エリアの屋根の下へ運搬します。
（雨に濡れない為に）

鉄片‥リサイクルエリア内のコンテナ置き場へ運搬します。

終了作業

木材‥焼却炉エリアの屋根の下へ運搬します。
（雨に濡れない為に）

鉄片‥リサイクルエリア内のコンテナ置き場へ運搬します。

切断作業場の掃除と丸ノコのメンテナンスを
行い、保護具等を片付けます。

木材切断作業報告書に切断した物の数量を記入します。
書類はハウス内にあり、ステック5枚と書かれた部分に
記入して下さい。

作業時の必要書類一覧

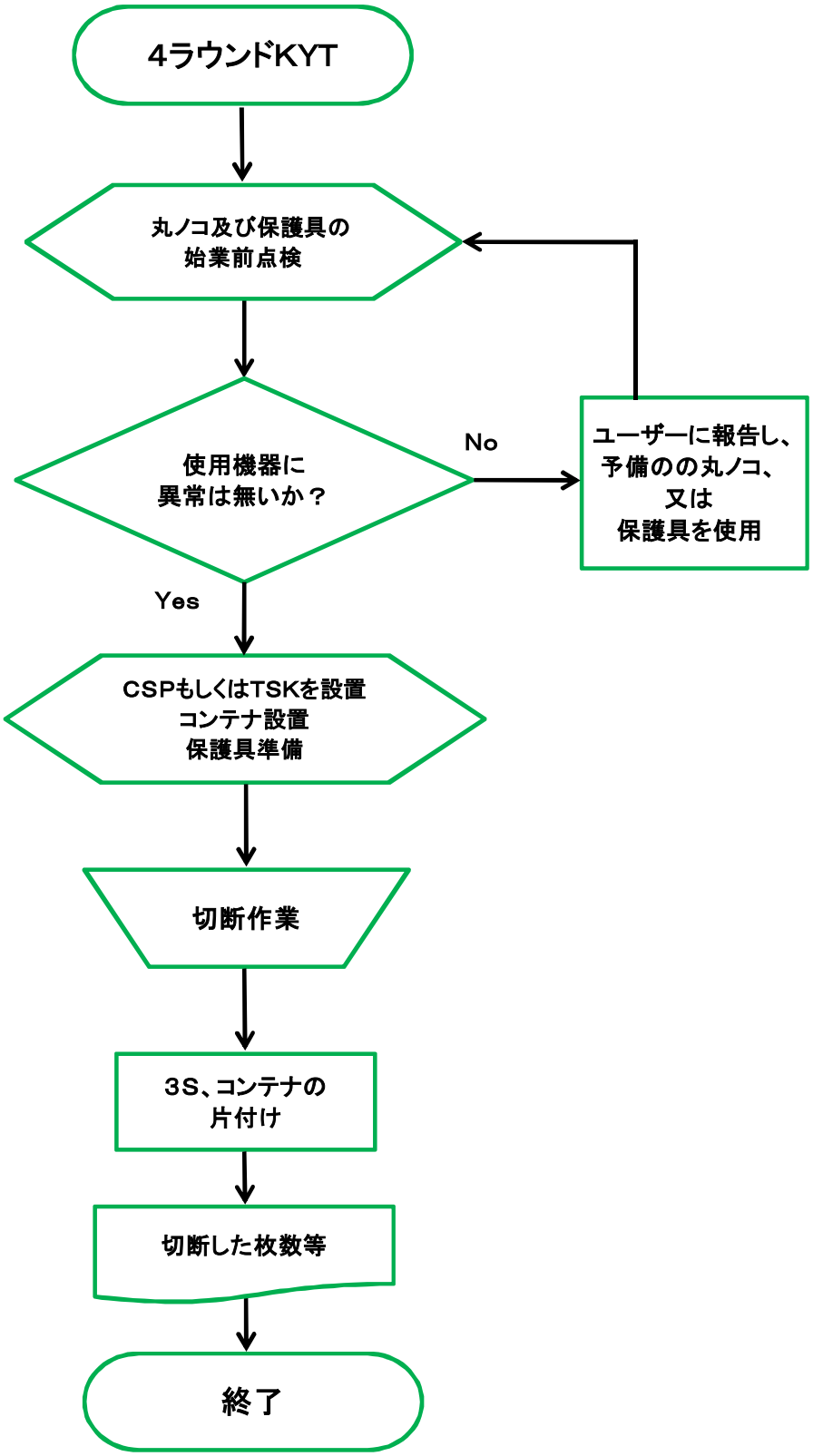
木材切断作業報告書

丸ノコ点検表

作業報告書(ゼオン用)

ご安全に…

作業フロー


4ラウンドKYT
丸ノコ及び保護具の
始業前点検
使用機器に
異常は無いか？
No
ユーザーに報告し、
予備ののの丸ノコ、
又は
保護具を使用
Yes
CSPもしくはTSKを設置
コンテナ設置
保護具準備
切断作業
3S、コンテナの
片付け
切断した枚数等
終了

付表1 制定・改定、見直履歴

版	日　　付	内　　容	変更箇所. 見直し記録(変更無しの記録)
1版	2011年2月21日	第1版制定	—
1版	2011年8月24日	見直し	変更等無し
2版	2011年12月1日	第2版改訂	11/10不適合に伴い切断方法変更
3版	2012年4月19日	第3版改訂	切断後の木材の保管場所を焼却炉へ変更
4版	2013年4月10日	第4版改訂	電工ドラムを延長コードへ変更